臺灣新民報（夕刊）
二月十二日
夕刊定價一部二錢
臺灣新民報社
臺北市榮町一丁目一番地
電話（代表）番一〇〇
臺北市榮町一丁目一番地
臺北支局　臺中支局　臺南支局　高雄支局　花蓮港支局
大阪市西區靱南通一丁目
大阪支局
東京市麻布區霞町一番地
東京支局

陸鷲・雲南各地に痛爆

昆明、滇緬公路を爆撃

【桂林○○基地十一日發同盟】南支飛行隊は十二日昆明及び滇緬公路に痛撃を加へ、一、武田指揮官の率ゆる飛龍、青鳥、花木、蜻蛉の各部隊は雲南省昆明飛行場の大倉庫に襲撃を敢行し大火災を惹起せしめたり

二、吉岡指揮官の率ゆる鳳凰、鷹鷲の各部隊は仏領印度支那の昆明飛行場に殺到し、機上、地上の敵機を撃破し、大倉庫を爆撃し大火災を惹起せしめたり

三、吉岡指揮官の率ゆる鳳凰、鷹鷲の各部隊は仏領印度支那の昆明飛行場に殺到し、機上、地上の敵機を撃破し、大倉庫を爆撃し大火災を惹起せしめたり

【桂林○○基地十一日發同盟】南支飛行隊は十二日昆明及び滇緬公路に痛撃を加へ、一、武田指揮官の率ゆる鳳凰、鷹鷲の各部隊は雲南省昆明飛行場の大倉庫に襲撃を敢行し大火災を惹起せしめたり

二、吉岡指揮官の率ゆる鳳凰、鷹鷲の各部隊は仏領印度支那の昆明飛行場に殺到し、機上、地上の敵機を撃破し、大倉庫を爆撃し大火災を惹起せしめたり

三、武田指揮官の率ゆる鳳凰、鷹鷲の各部隊は雲南省昆明飛行場の大倉庫に襲撃を敢行

一期作米の生産に
各種の強調週間設定
臺北州增産目的達成に努む

臺北州では後期作米の方針に即し昭和十六年度産米増産計畫の徹底に努めつゝあるが、十五年度一期作の成績は、十分な生産の確保に鑑み、十五年度一期作米の生産の確保

（第三種郵便物認可）

民藝の新體制（下）

水澤澄夫

我が「月刊民藝」の民藝者田中俊雄君とその民藝に聴し、しばしば明り合ふ機會を得、民藝の一部を見て驚く、一つの現實にまで到達した。民藝は、民藝に聴しある故に、つぶさにここで述べるわけにはゆかないが、民藝をあげると次の諸項である。

一、工藝教育の改善

美術學校、工藝科、高等工業、中等程度の工藝學校に於て、今後益々強化されるべき問題である。

二、地方色の保存

各地の民藝の形態に於ては、民藝的な化粧、民藝的な建築、民藝的な地域的特徴が、現大な民藝となつて現れる。その場合、商業的に民藝的なプランさへあれば、必ずや民藝は繁榮する筈である。

三、民藝的生活計畫を立つて國民各層の生活に、民藝せねばならぬ

そのためには先にあげた例の、民藝の美的特徴、例えば、民藝的な品物であること、民藝的なものであること、民藝的なものであること、民藝を作ること、民藝的に多く作り得ること、家庭的な生活であること、家庭に立脚せること、それらの事項が必然的に要求されるのである。同時に現在と未來との生活を結ぶ、能率的な民藝的能率であること、民藝的能率であると共に、民藝的能率である故に、民藝的能率である故に、民藝的能率である故

曉の町 (103)

武田麟太郎作
林唯一畫

狙撃犯人 (十五)

自分が會社の同僚と折合ひが悪いなどとは、しのぶは思つてゐなかつたが、そんなことには始めて無關心な自分のことであるから、あるひはさうかも知れないと感首した。

「――私はそんな風がつきまとんけれど、ひとつとしたら……」

と、彼女は呟ひ出した。

「――さうですかれ、みんな私を嫌つてたのかなア」

しみじみと感に絶えたやうな語調であつた。

「――みんなに好かれてるとばかり思り決めてゐたのに……」

「――そこで會社の方も、しのぶを感覚するより仕方がないこと云つてるんだそうだ」

「――なるほどれえ」

彼女はまるで他人のことをたいに答へた。

「――それやキ、困るんだもないかと、西川さんは心配して、何たら自分の工場に來て貰ひたい、月給も是認のなら、現在よりもよく出せると言ふがある、うんと高給で引き取つて會社の眼をあかしてやりたいとも云つたのに」

「――それをあなたは断つてしまつたくれと云ふわけですね」

「――そうだ」

「――そして、おなさんはどうなる事をなさつたの」

「――うん、別に何も云はずに聞いといたのだが、一切はお前の意思如何だからね」

「――えんと」

「――本當に嫁になりさうかね」

「――人間關係さんから聞いた理由はちようどちがへんですが、さう云ふ話でした」

「――うむ、……西川のところに勤めるか」

「――おなさんが困つて行けとおつしやれたですが、私の眞縁としては、……どうか他を探してみたい」

「――さうか」

「――御通ならば、かなり困難な仕事であらうが、彼らの間でなさるだ置場らしくもない淡々たる感覚に過ぎなかつた。しのぶの結婚が家庭の見しになつてゐるらないのことではなく、彼らの他者の終らしめるとゐうであつた。恩が一、遊蕩な嫁が得られず、彼女の收入が社會すれば、この一家はたちまちにして困るにちがひない。彼女はそれからまた彼の不自由な先生のために、食餐を手傳つてゐた。

「――さうさう、明日はお前に鑑賞へ行つて貰はうかと思つてたんだ」

世間の眼と鑑賞の高い鑑賞になるのでかういふ人の鑑賞を鑑賞しどみると鑑賞は鑑賞されてしまつてゐる。鑑賞は鑑賞の鑑賞、鑑賞は鑑賞に落ちる場合には小さな破片になつて飛んで行く、これが非常な鑑賞で飛ぶ死鑑を生ずしめる。この破片の大きさは鑑賞のそうな小さなものであつても、鑑賞に鑑賞の中に入つて鑑賞を鑑賞してしまつた、まこの鑑賞の鑑賞する時

「――ようも、……貴代、寒入れ」

「――ようも、……貴代、寒入れ」

「――ぜひ、……」

「――ぜひ、……」

「――ぜひ、……

(第二版)　(明治卅一年五月九日第三種郵便物認可)　昭和十六年二月二十三日　(日曜日)　臺灣日日新報　第一万四千七百十一號　(一)

臺灣日日新報
日本唯一夕刊共八頁
作新口江・人行社新聞
地番北市目丁四町榮市北
社番新日日臺　所行
電話臺北五八〇三
電報臺北五八〇三
振替口座臺灣二〇番
料金特別二行十五字
廣告料金二行十五字
定價　本社　一ケ月　一円
一ケ月　一円
一ケ年　十二円
一ケ年　十二円

貴族院の審議快調
今月中に議了確實

【東京廿二日發同盟】貴族院は愛國勤労奉公法、治安維持法改正、戒嚴令改正、國防保安法、軍機保護法、國家總動員法、金融等の緊急勅令、昭和十一年度決算、昭和十二年度予算、昭和十五年度追加予算、昭和十六年度予算、昭和十六年度追加予算、昭和十六年度追加予算、昭和十六年度追加

社説

翼賛運動は牽制されぬか
臺灣は寧ろ積極化を要望

一

大政翼賛會に對する政府補助金八百万円を投じて、翼賛議會會員に対する給與が官吏に準じ、その他大政翼賛會と翼賛會との關係等につき議論の協めの調査が交はされたなどの噂があり、その結果が、翼賛議會"の名に値するものが、殆ど曲りなりにも各種團体の再編成に繋げる上に於て支障なきものと考へられるが、吾等の特に心外に堪へぬことは、あれまで活潑に議論されて來た翼賛運動が今頃に議論されて根本問題が、殊にも朝鮮に於ては相當問題の改組を要する筈なのに、殆ど何の改組も無かつたのに比して、今しく議論の歩調に移つたのに比して、今しく議論の歩調に移つたのに比して、今しく議論の歩調に移つ

拓南塾への希望者既に千餘に及ぶ

若人群の南方發展熱

【東京二十二日發同盟】南方發展の矢先を察知する為め拓殖省では四月から拓南塾を開く事になり發足生徒募集の發表をしと所、當日電話や手紙の問合せが殺到し遠く朝鮮、滿洲、樺太等からは熱烈な問合せに依る

問合　せ殺ありこの數日間に聞はれた手紙だけでも千通に近く殺立事務を取扱せてゐる。何れも熱心な南方發展の希望に燃えた者ばかり、中には東京帝國大學を卒業生百五十人について拓殖志望を表明した所拓南塾志望者の二十數名もあつたといふものや「皇國は若者としお國の為め に働かせて戴いて居りますが三男坊の次男坊の者に成り拓殖省では四月から拓南塾を開く事になり

臺灣地方會合

全平野は四通八達 十ヶ年計畫 高雄州下道路網完成

【高雄電話】高雄州下の道路網は二十年度を以て一応の完成を見ることになつたが、一方に於ては今後の交通機関の發達に伴ひ、道路の改修、新設の必要を生ずるものが多く、殊に州下の平野部は四通八達の道路網を有するに至つたが、今後は一層の改修を加へ、産業開發の基礎を確固たらしめ、州下の産業開發に寄與する道路網の完成を期する為、今後十ヶ年計畫を樹て、本年度から第一期の工事に着手することになつた。

高雄州下の道路は、大正十年度から道路改修費を計上して、主要道路の改修に着手し、昭和十年度までに、一応の完成を見たが、その後、産業の發達に伴ひ、道路の改修、新設の必要を生ずるものが多く、殊に州下の平野部は四通八達の道路網を有するに至つたが、今後は一層の改修を加へ、産業開發の基礎を確固たらしめ、州下の産業開發に寄與する道路網の完成を期する為、今後十ヶ年計畫を樹て、本年度から第一期の工事に着手することになつた。

高雄州下の道路は、昭和六年以来十ヶ年計畫を樹て、これが文化開發の根幹たる道路網の整備に努めて来たが、本年度が最終年となり、且つ第二期工事として、各々繼續してゐるが、三月末には同繼續完成の運びとなる見通しであつて、本年度に十ヶ年計畫の半ばを過ぎつたが、州下の道路は、今後は更に生産開發に歩調を揃へて、山間地帯の開發工事に力を注ぎ、産業開發の基礎工事として、州下の平野部は、既に完成を見たが、今後は、産業の發達に伴ひ、道路の改修、新設の必要を生ずるものが多く、殊に州下の平野部は四通八達の道路網を有するに至つたが、今後は一層の改修を加へ、産業開發の基礎を確固たらしめ、州下の産業開發に寄與する道路網の完成を期する為、今後十ヶ年計畫を樹て、本年度から第一期の工事に着手することになつた。

能高越え道路開鑿に 金島青年代表參加 四月から豫備訓練實施

【花蓮港電話】東部の花蓮港と西部の新高港を連絡、能高越を通ずる大支線路を開鑿する能高越道路は、総督府において明年度より開鑿工事として施行することに決定を見たが、右開鑿工事に要する勞力の一部として、青年團員を以てこれに充てることになり、来る四月早々、各郡より選抜される三名の青年團員を花蓮港に集合、開鑿を開始する筈である。而して右開鑿所は花蓮港郡内の能高越を能高地駐在所に設ける筈で、能高越を能高地駐在所に設ける筈で、能高越を能高地駐在所に設ける筈で、